

2021年12月期第3四半期決算補足説明資料

2021年11月2日

株式会社HANATOUR JAPAN



東証マザーズ コード 6561

Summary

**2021年12月期3Qは前年同期比33.4%減収
最終損失 前期比+8億円で14億円に**

バス事業

**オリンピック・パラリンピック需要（メディアクルー送迎）獲得
によりセグメント損失圧縮**

**各事業マーケット回復を見据え営業強化
海外有力サイトとのAPI連携推進
インバウンド実証事業取り込みの準備**

第三者割当増資 15億円調達

2021年12月期3Q 実績サマリー

新型コロナウイルス感染症の影響による低迷

単位：百万円（百万円未満切捨て）

	2020/12		2021/12 前期比			
	3Q	構成比	3Q	差額	増減率	構成比
売上高	816	100.0	543	△ 273	△ 33.4	100
営業利益	△ 1,697	△ 208.0	△ 1,556	141	-	△ 286.3
経常利益	△ 2,062	△ 252.7	△ 1,485	577	-	△ 273.1
親会社株主に帰属する 当純利益	△ 2,286	△ 280.1	△ 1,491	795	-	△ 274.3

1株当たり当期純利益

△ **209.93**△ **136.98**

2021年12月期3Q 損益計算書

販管費の抑制継続 為替リスク解消済

単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

	2020/12		2021/12 前期比			
	3Q	構成比	3Q	増減	伸率	構成比
売上高	816	100.0	543	△ 273	△ 33.4	100.0
売上原価	509	62.4	265	△ 244	△ 47.9	48.9
売上総利益	307	37.6	278	△ 29	△ 9.4	51.1
販管費	2,004	245.6	1,834	△ 170	△ 8.5	337.5
うち人件費	629	77.1	432	△ 197	△ 31.3	79.7
営業利益	△ 1,697	△ 208.0	△ 1,556	141	-	△ 286.3
経常利益	△ 2,062	△ 252.7	△ 1,485	577	-	△ 273.1
親会社株主に帰属 当期純利益	△ 2,286	△ 280.1	△ 1,491	795	-	△ 274.3

売上原価
・バス事業：△122百万円
・免税事業：△111百万円

販管費
・旅行事業：△194百万円
・バス事業：△90百万円
・免税事業：△129百万円
・ホテル事業：+316百万円
※京都ホテル（開業費含む） +441百万円
・調整他：△67百万円

営業外損益
・前期 為替差損450百万円
・当期 雇調金等助成金 128百万円

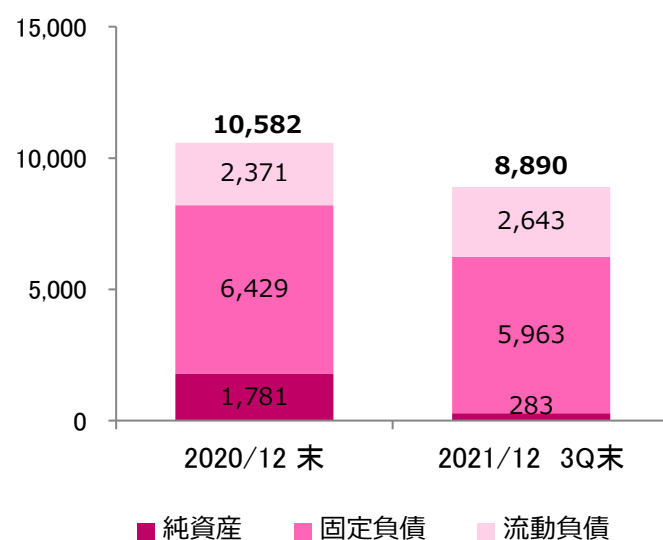
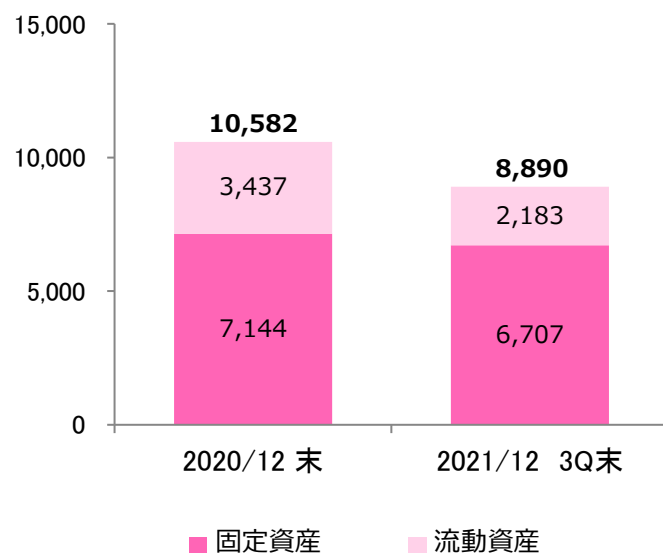
特別損失
・前期 減損損失 111百万円 構造改善費用 61百万円

2021年12月期3Q セグメント別

単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

		2020/12 3Q	2021/12 3Q	前期比		
				増減	伸率	構成比
旅行事業	売上高 セグメント利益 利益率	130 △ 287 -	24 △ 149 -	△ 105 137 -	△ 81.2 - -	4.4 9.6 -
バス事業	売上高 セグメント利益 利益率	191 △ 330 -	180 △ 129 -	△ 10 200 -	△ 5.8 - -	33.1 8.3 -
免税販売店事業	売上高 セグメント利益 利益率	99 △ 142 -	- - -	- - -	△ 100.0 - -	- - -
ホテル等施設運営事業	売上高 セグメント利益 利益率	456 △ 676 -	355 △ 1,087 -	△ 100 △ 411 -	△ 22.1 - -	65.4 69.9 -
その他	売上高 セグメント利益 利益率	39 5 12.8	18 1 5.6	△ 21 △ 3 -	△ 54.3 - -	3.3 △ 0.1 -
小計	売上高 セグメント利益 利益率	916 △ 1,432 -	578 △ 1,365 -	△ 338 67 -	△ 36.9 - -	106.4 87.7 -
調整等	売上高 セグメント利益 利益率	△ 100 △ 265 -	△ 34 △ 192 -	65 73 -	- - -	△ 6.3 12.3 -
合計	売上高 営業利益 利益率	816 △ 1,697 -	543 △ 1,556 -	△ 273 140 -	△ 33.4 - -	100.0 100.0 -

2021年12月期3Q 貸借対照表



単位：百万円（百万円未満切捨て）

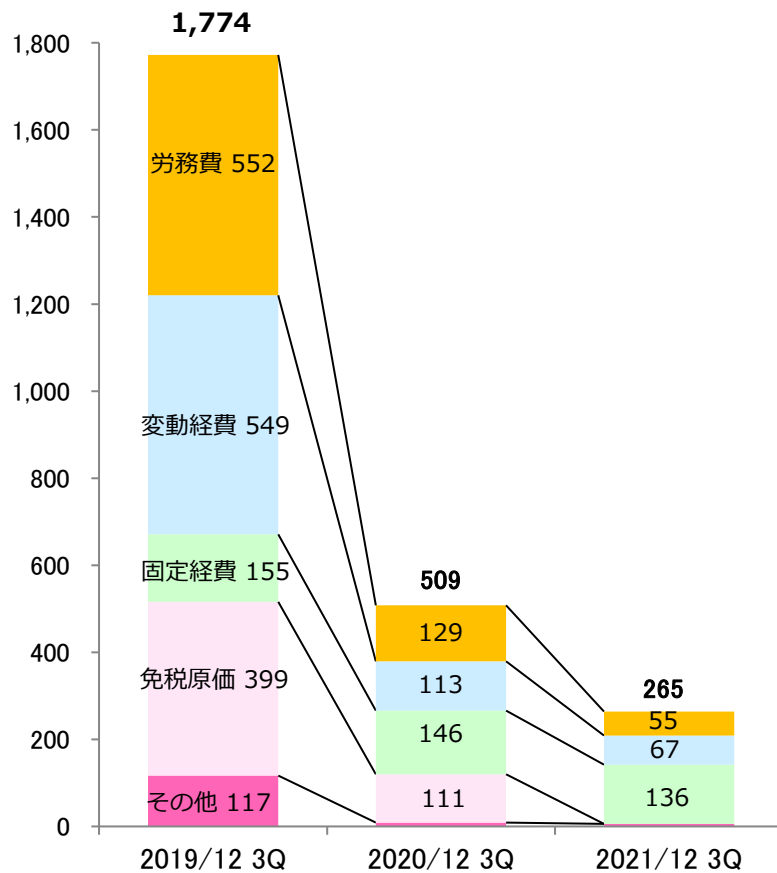
流動資産	2,183	(△1,253)	
■ 現金及び預金	1,811	(△1,214)	売上減による減少
■ 売掛金	65	(+21)	オリンピック関連売上
■ 前渡金	186	(△24)	回収による減少
固定資産	6,707	(△437)	
■ 有・無形固資	5,442	(△258)	償却による減少
■ 敷金保証金	1,223	(△128)	ホテル賃料の敷金充当
流動負債	2,643	(+272)	
■ 一年内返済長借	464	(+298)	更新予定期日の到来
■ リース債務	196	(△63)	返済による減少
固定負債	5,963	(△465)	
■ 長期借入金	1,071	(△293)	一年内返済長借へ振替
■ リース債務	4,808	(△125)	返済による減少
純資産	283	(△1,498)	
■ 資本金	1,022		
■ 資本剰余金	966		
■ 利益剰余金	△1,531	(△1,491)	当期利益△1,491

2021年12月期3Q コスト削減

構造改革によるコスト削減

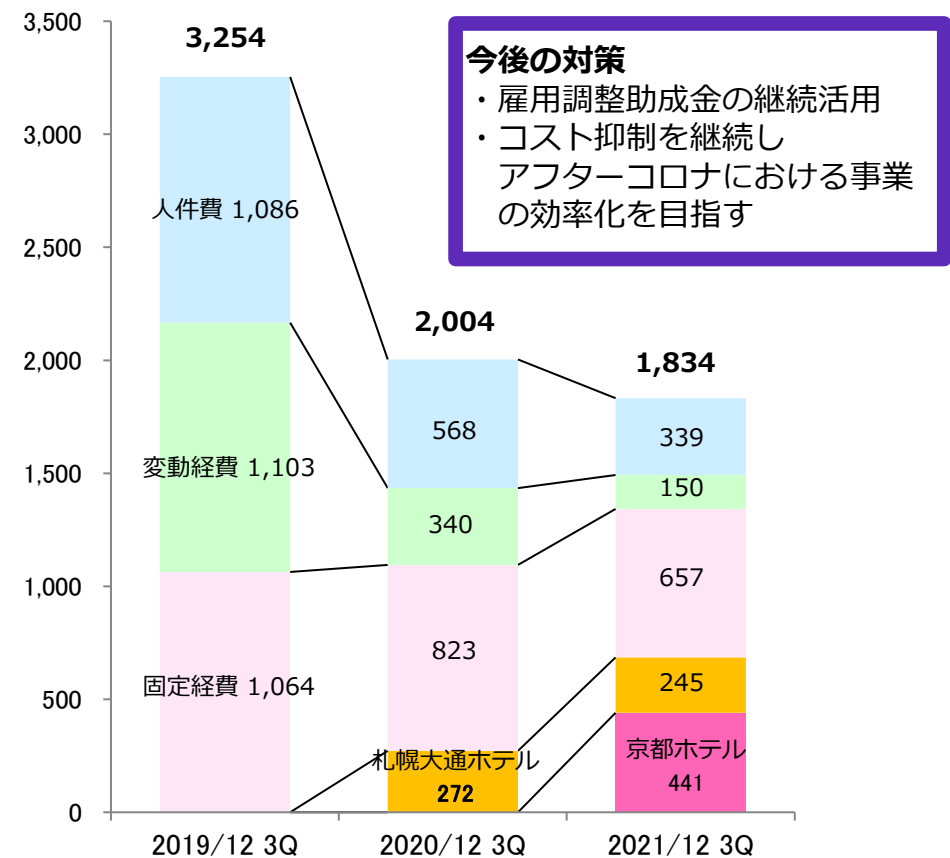
売上原価 3期比較

単位：百万円（百万円未満切捨て）



販管費 3期比較

単位：百万円（百万円未満切捨て）



2021年12月期 業績予想 配当予想について

新型コロナウイルス感染症の影響により、観光産業は一部回復の動きが見えるものの、入国制限や渡航制限などの措置が続いており、現時点では収束の見通しは立っておらず、業績予想の算定が困難な状況です。

従いまして2021年12月期の連結業績予想及び配当は未定とさせていただきます、影響額の算定が可能となった時点であらためて開示させていただきます。

2021年12月期 今後の重点施策

営業基盤の強化

経営効率化

営業力強化

旅行事業

- ▶ 全社的休業によるコスト削減
- ▶ 雇用調整助成金の活用

- ▶ インバウンド市場回復を見据えた取組み
 - パッケージ商品の企画・販売準備
 - 海外有力サイトとのAPI連携推進
 - 政府インバウンド実証事業参画準備
- ▶ GoTo再開・国内需要を見据えた取組み
 - 外資系企業・在留外国人向け営業強化

バス事業

- ▶ 営業拠点の選択と集中
 - 東京・大阪の2拠点へ絞り込み
- ▶ 雇用調整助成金の活用

- ▶ 新型コロナウイルス軽症者等の搬送事業の受注
- ▶ クルー送迎便の獲得
- ▶ 国内AGTへの営業強化
- ▶ 国内向け販売強化

ホテル等
施設
運営事業

- ▶ 金沢（110室） 開業を延期
- ▶ 雇用調整助成金の活用

- ▶ GoTo再開を見据えた取組み
 - 飲食店等と提携した宿泊商品など企画
- ▶ 新ブランド「ホテルセンレン京都東山清水」
 - 国内外OTAへ広告宣伝強化
- ▶ 東京大森 航空会社乗務員の宿泊誘致強化

財務体質の強化

金融機関、親会社へ継続した支援要請

- ▶ 借入契約、融資枠設定契約の継続

状況に合わせて資金調達の検討

- ▶ 2021.11 第三者割当増資15億円の調達

ディスクレームー

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

【お問い合わせ先】

株式会社HANATOUR JAPAN

経理財務部

TEL 03-6629-4755

ホームページ <http://www.hanatourjapan.jp/>